

科目名	音楽データベース2		科目コード	1919	
開講学科	音楽学科	単位数	4	形態	演習
教員名	石上和也・泉川秀文・出口実紀				
授業の目的及びテーマ					
<p>本演習は、音楽における音、演奏動作、楽器、楽曲、楽譜および、音楽文化を支えるあらゆるコンテキストをてがかりに、人間の音楽行動や環境の分析と記録の方法を学ぶ。さらに、マルチメディア機器を活用して諸資料のデータベースを構築する。通信教育を受講する学生が全国各地に在住する特色を生かし、各人が主体的に関わる音楽、芸能等を対象とした資料を収集・分析するとともに、コンピュータネットワーク空間に「情報音楽Web博物館」を開設するためのプロジェクトを実施する。</p>					
授業概要					
<p>「音楽データベース2」では、「情報音楽基礎演習」「音楽データベース1」で学習した情報音楽学的なアプローチの集大成として、IT社会において重要な役割を担う「情報音楽Web博物館」を構築する。そのために、受講生各自が主体となって、担当する専門領域(あらゆる音楽文化を対象として、その中から音楽種目、楽器、演奏、楽譜、その他を選択)を定め、データベースを作成する。テキスト(印刷教材)においては、「日本社会における音楽」という視点から、音楽研究の目的やアプローチ方法について理解を深めるとともに、データベース作成の基礎となるデスクワーク、フィールドワーク、ドキュメンテーション、情報の活用方法等について、複数の音楽研究事例から幅広く学ぶ。さらに、研究対象を自己の専門領域に置き換えて、各自の研究計画を立案する。学校教育や吹奏楽、オーケストラ、楽器、音楽産業、ジェンダー、芸能、伝統音楽といった、極めて複眼的な視座のもとに、私たちが生活する日本における多様な音楽のありかたを、歴史的経緯をふまえながら十分に把握してほしい。</p> <p>スクーリングにおいては、「音楽データベース1」のスクーリングでの学習内容の次の段階として、音響情報、動画情報の処理技術を習得するとともに、本科目のために準備されたデータベースアプリケーションの操作方法を理解する。</p>					
授業計画					
<p>第1回：オリエンテーション／マルチメディアデータベースとしての音楽データベース</p> <p>第2回：マルチメディアデータベース研究の事例紹介と解説</p> <p>第3回：マルチメディアデータベース企画書の解説／企画案作成</p> <p>第4回：「音楽データベース・デジタルコロキウム」－取り組む課題をより価値の高いものとするために①</p> <p>第5回：「音楽データベース・デジタルコロキウム」－取り組む課題をより価値の高いものとするために②</p> <p>第6回：マルチメディアDBにおける諸問題～さまざまな音楽情報を扱う研究者の立場と必要な意識①</p> <p>第7回：マルチメディアDBにおける諸問題～さまざまな音楽情報を扱う研究者の立場と必要な意識②</p> <p>第8回：データベースのための情報音楽学実習／情報楽器学の世界①</p> <p>第9回：データベースのための情報音楽学実習／情報楽器学の世界②</p> <p>第10回：データベースのための情報音楽学実習／情報楽器学の世界③</p> <p>第11回：データベースを活用した研究事例の解説…フィールドワーク研究事例①</p> <p>第12回：データベースを活用した研究事例の解説…フィールドワーク研究事例②</p> <p>第13回：ドキュメンテーション実習(動画編集ソフトウェアの解説)</p> <p>第14回：「企画書の作成」～音楽データベース2最終課題に向けて</p> <p>第15回：ここまでのまとめ</p>		<p>第16回：オリエンテーション／先行研究データベースの紹介と解説</p> <p>第17回：企画書の作成・修正／データベース実習に向けて-課題と方法論の確認</p> <p>第18回：データベース実習／フィールドワーク・ドキュメンテーション①</p> <p>第19回：データベース実習／フィールドワーク・ドキュメンテーション②</p> <p>第20回：データベース実習／フィールドワーク・ドキュメンテーション③</p> <p>第21回：相互発表会(中間発表)／プレゼンテーション①</p> <p>第22回：相互発表会(中間発表)／プレゼンテーション②</p> <p>第23回：データベース実習／ドキュメンテーション・オーサリング①</p> <p>第24回：データベース実習／ドキュメンテーション・オーサリング②</p> <p>第25回：データベース実習／ドキュメンテーション・オーサリング③</p> <p>第26回：データベース実習／ドキュメンテーション・オーサリング④</p> <p>第27回：データベース実習／発表・プレゼンテーション構築</p> <p>第28回：相互発表会／プレゼンテーション①</p> <p>第29回：相互発表会／プレゼンテーション②</p> <p>第30回：相互発表会／プレゼンテーション③／総括とまとめ</p>			
テキスト	「現代日本社会における音楽」月溪恒子・北川純子・小塩さとみ著(放送大学教育振興会)Web教材「音楽データベース2」(大阪芸術大学配信)		参考文献	配布プリント等	
評価方法:					
<p>通信授業は提出課題3件を以って評価する</p> <p>面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					